

しぶや安全・安心メール利用規約

第1条(規約の適用)

渋谷区(以下「区」という。)は、株式会社ドーン及びバイザー株式会社(以下「サービス事業者」という。)が提供するメール配信サービス(以下「本サービス」という。)を使って、「しぶや安全・安心メール」を運用します。

2 しぶや安全・安心メールに登録した皆様(以下「会員」という。)は、本規約に定める事項に同意の上、本サービスを利用するものとします。

第2条(個人情報の定義)

本サービスでは、会員が自らシステムに登録する電子メールアドレスを個人情報といたします。

第3条(個人情報の利用目的)

本サービスにおいて収集した会員の個人情報は、本サービスの申込み確認、規約の変更の通知及び登録があったサービス内容の提供にのみ利用します。

第4条(セキュリティ対策)

サービス事業者は、登録情報の保全と秘密保持を図るため、当該情報への不正アクセス及び不正利用を防止するための技術的、物理的及び管理体制上必要なセキュリティ対策を実施します。この場合において、本サービスにおける「情報セキュリティポリシー」に基づきネットワークの一時切断等の措置を講じる場合があります。

第5条(個人情報保護の管理)

サービス事業者は、会員の登録情報を安全かつ適切な管理体制の下で、細心の注意をもって保護するものとします。

第6条(登録情報の確認・変更・脱退)

本サービスでは、会員が任意に登録情報の確認若しくは変更又は本サービスの脱退をすることができます。

第7条(禁止事項)

本サービスの利用に当たり、登録希望者及び会員は、次の事項を行ってはならないものとします。

- (1) 他人のメールアドレスを、その所有者の承諾なしに登録すること。
- (2) 不正に入手又は生成した大量の電子メールアドレスを登録すること。
- (3) 本サービスの提供サーバに対して、不正アクセスを試みること、意図的に不正な指令を与えること、高負荷をかけることその他本サービスの提供に障害を与えようとする事。

第8条(第三者への提供)

登録された個人情報を第三者に提供することはありません。ただし、次の場合においては、この限りではありません。

- (1) 会員本人の同意がある場合
- (2) 法令に基づき、当該法令が定める執行機関等から正当な手続により開示又は提供の要請があった場合

(3) 人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、会員本人の同意を得ることが困難な場合

(4) 国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがある場合

第9条(費用)

本サービスの利用に当たり、次の費用については、会員が負担するものとします。

- (1) 本サービスの利用に必要な携帯電話その他電子機器の調達に係る費用
- (2) 本サービスの利用に必要なメールの送受信、ホームページの閲覧等のデータ通信に係る費用

第10条(本規約の改定)

本規約は、法令等の要請及び個人情報保護の改善のため、適宜見直しを図り、必要な改定を行うものとします。

- 2 前項の規定により本規約の改定を行う場合、通知なしに変更する場合があります。
- 3 本規約が改定された場合、改定後の内容が直ちに適用されるものとします。

第11条(免責事項)

登録された情報により会員又は第三者が損害を被った場合において、区及びサービス事業者は、一切の責任を負わないものとします。

2 通信回線、サーバの混雑等により、メール配信の遅延又は未着が生じた場合の結果に対して、区及びサービス事業者は、一切の責任を負わないものとします。

3 会員が虚偽の登録を行ったことで、第三者に対して損害を与えた場合において、区及びサービス事業者は、一切の責任を負わないものとします。

4 本サービスのシステムに異常が生じた場合は、サービス事業者は、予告なく本サービスの提供を停止する場合があります。

5 前項の規定による本サービスの提供の停止により生じた会員及び第三者の損害に対して、区及びサービス事業者は、一切の責任を負わないものとします。

第12条(準拠法)

本規約の準拠法は、日本法とします。

2 会員との間で生じた紛争については、区の住所を管轄する裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。